

薬液注入工 九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

工法比較表対象技術
 新規対象技術(調査中)
 削除技術

令和4年9月現在

※「活用状況(本省)」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆=500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上

(注)NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	A V G	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用 効果 評価	活用 状況 (本省)	掲載期間 終了技術 (終了時期)	生産供給体制(機械保有台数等)	備考	NETIS HP リンク先(注)
1	浸透固化処理工法	KT-990230	VG	本技術は、既設構造物の直下に浸透性の高い薬液を浸透注入する地盤改良技術で、従来は、超微粒子セメントで対応していた。本技術の活用により、1回の注入で直径2~3mの大きな改良体を作成でき、削孔本数が低減できるため、経済性が向上する。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	特殊シリカ系	[設計比較] [活用促進]	有	□ (H29年5月)	○ (H29年5月)	ミキシングプラント、集中管理装置を全国で適宜配置		
2	曲がり削孔工法	KT-060120	VG	本技術は、構造物直下等の地盤改良を目的として地盤中の計画路線に対して正確に誘導削孔する技術である。従来は地上からの直斜削孔や立坑からの水平削孔で対応していた。本技術の活用により、削孔精度と長距離施工性の向上、工期・コスト低減が期待できる。	工法	共通工	薬液注入工	その他		[H26準推奨] [設計比較]	有			ミキシングプラント、集中管理装置、削孔機を全国で適宜配置		
3	超音波振動注入工法	CB-180008	A	本技術は超音波振動を併用しながら施工する薬液注入工法である。従来工法に比べて注入材の浸透性能が大幅に向上し高品質の改良体を形成する。ゲルタイムの長い注入材を用いて確実に浸透させるため、広範な液状化対策や隆起変状が懸念される構造物の近接施工に適する。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	水ガラス系					超音波注入装置(注入内管)9台(所在地:千葉・愛知)、超音波制御装置(発振器)4台(所在地:千葉)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-180008%20
4	ハイグリップグラウト工法	CB-180028	A	本工法は、薬液注入工事にて使用する注入工法である。本工法では、地山パッカによる削孔穴からの薬液漏洩防止機能の強化、特殊シール材による大きな薬液浸透源の確保、薬液注入の集中管理システムによる注入管理の効率化により従来工法と比較して注入効率を高めている。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	特殊シリカ系					ミキシングプラント(自動計測)1000L練り:九州外(愛知)8台、集中管理装置:九州外(愛知)16台		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-180028%20
5	Newスリーブ注入工法	KT-190012	A	本技術は、注入材料の吐出・浸透注入区間を長くした薬液注入工法で、従来はダブルパッカー工法で対応していた。本技術の活用により、注入作業の高速化と注入孔数が削減され、経済性の向上と工期短縮が図れます。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	水ガラス系					-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-190012%20
6	パーマロックASFシリーズ	KT-190051	A	本技術は薬液注入工法に用いる液状化対策用溶液型恒久注入材で、従来はセメント系固化材(JG-1号)で対応していた。本技術は土粒子間浸透による改良であり、地盤構造を破壊せずに大量の建設泥土も発生しない、小型設備での対策が可能であり、経済性の向上が図れます。	材料	共通工	薬液注入工	薬液系	特殊シリカ系					多連ポンプ・注入管理装置:九州内9台、九州外9台(兵庫県・群馬県)、全自動ミキサー:九州内9台、九州外8台(兵庫県・群馬県)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-190051%20
7	耐久性無機溶液型シリカゾルグラウトシリーズ	KT-200081	A	本技術は、地盤改良に用いる注入材で水ガラスの劣化を抑えたシリカゾルをベースとした無機溶液型シリカゾルグラウトであり、従来は溶液型水ガラスグラウト(有機系)で対応していた。本技術の活用によりシリカの溶脱を抑え、改良体の耐久性・改良地盤の経済性が向上する。	材料	共通工	薬液注入工	薬液系	水ガラス系					-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-200081%20
8	懸濁型超微粒子複合シリカグラウト「ハイブリッドシリカ・シリーズ」	KT-220015	A	本技術は、地盤改良に用いる高強度薬液注入材で、従来は、高圧噴射二重管工法のセメント系固化材で対応していた。本技術の活用により、従来技術で見られた建設汚泥処理が減少するため経済性向上・周辺環境への影響が抑制される。	材料	共通工	薬液注入工	薬液系	その他					-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-220015%20